

令和元年度 第2回 瀬戸市小中一貫校開校準備委員会

次第

令和元年11月18日(月)

午後3時から

瀬戸市役所 大会議室

1 あいさつ

2 報告

(1) にじの丘学園の体制について

…資料番号 1-1～1-2

(2) 通学について

…資料番号 2

(3) にじの丘学園コミュニティ・スクールについて

…資料番号 3-1～3-2

3 その他

1) Q&Aについて

2) にじの丘だよりについて

3) 今後のスケジュールについて

令和元年度瀬戸市小中一貫校開校準備委員会 名簿

	氏 名	所属及び役職	区分
委員長	木村 光伸	名古屋学院大学 国際文化学部長 教授	学識
副委員長	鈴木 賢一	名古屋市立大学 芸術工学研究科 教授	学識
委 員	鈴木 健二	愛知教育大学 教育実践研究科（教職大学院）教授	学識
委 員	富永 大輔	瀬戸市小中学校PTA連絡協議会 会長	PTA
委 員	太田 亜衣	瀬戸市小中学校PTA連絡協議会 母親代表部長	PTA
委 員	早川 寿	祖東中学校 校長／にじの丘学園開校準備校長	学校
委 員	臼井 一夫	道泉小学校 校長	学校
委 員	矢野 桂子	元 瀬戸市教育アクションプラン推進会議委員、元 校長	教育
委 員	加藤 義人	道泉連区自治連合会 会長	地元
委 員	井上 勝太郎	深川連区自治会 会長	地元
委 員	近藤 孝道	古瀬戸自治連合会 会長	地元
委 員	松原 辰巳	東明連区自治連合会 会長	地元
委 員	古田 孝	祖母懐連区自治会 会長	地元
委 員	加藤 和守	瀬戸市公民館協議会 会長	地域
委 員	横山 彰	瀬戸市教育委員会 教育長	市教委
委 員	加藤 高明	瀬戸市教育委員会 委員	市教委
委 員	西原 勇	教育サポートセンター センター長	市教委

委員数17名（敬称略）

## 開校準備委員会 過去の次第

年度	回	日にち	議題
平成29年度	第1回	6月29日	(1) 瀬戸市小中一貫校開校準備委員会について 1) 設置要綱 2) 名簿(案) 3) 位置づけ(イメージ) 4) 傍聴要綱 5) 本年度の進め方(案) (2) モデル地区における小中一貫校について 1) 小中一貫校施設概要(案) 2) 通学 3) 校名選定(案) (3) 小中一貫教育について 1) 小中一貫教育カリキュラム 2) 小中一貫教育の推進 (4) Q & Aについて (5) その他
	第2回	8月28日	(1) モデル地区における小中一貫校について 1) 基本設計 2) 通学 3) 校名選定(案) (2) 小中一貫教育について 1) 小中一貫教育・小中一貫校カリキュラム編成(中間報告) 2) 目指す人間像(子どもの姿)及び評価指標 (3) 子どもたちのための学校づくりについて 1) ワークショップ実施イメージ 2) PTAや地域との良好な関係づくり 3) その他
	第3回	1月18日	(1) 小中一貫校カリキュラム編成について (2) 学校運営などについて (3) 学校跡地について (4) その他
	第4回	3月22日	(1) 小中一貫校における教育について (2) 学校施設について (3) 地域協働について

開校準備委員会 過去の次第

年度	回	日にち	議題
平成30年度	第1回	10月31日	1 あいさつ 2 平成30年度の委員の編成について 3 (1) カリキュラムの考え方について 4 (1) モデル地区における通学について 1) 通学についての考え方 2) 通学路の安全対策 (2) 校歌・校章・制服について 1) 校歌 2) 校章 3) 制服 (3) その他 にじの丘だよりについて Q&Aについて 5 その他
	第2回	3月28日	1 あいさつ 2 (1) カリキュラムについて 3 (1) モデル地区における通学について (2) 今後のプロセスについて (3) 校歌・校章・制服について 1) 校歌・校章 2) 制服 4 その他
令和元年度	第1回	7月30日	1 あいさつ 2 令和元年度の委員編成について 3 その他 1) Q & A について 2) プロモーションチラシについて 4 その他

学年	児童生徒数		
	男子	女子	計
1	63	45	108
2	68	44	112
3	56	57	113
4	40	52	92
5	41	69	110
6	51	61	112
小計	319	328	647
7	43	42	85
8	28	19	47
9	36	30	66
小計	107	91	198
合計	426	419	845

※ 1、2、7年生は、1クラス上限35人、その他の学年は40人  
 ※ 上の児童生徒数は特別に支援を要する児童生徒数を含む

にじの丘学園の授業(案)

(時間:一単位時間 小学校45分、中学校50分)

		1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
教科	国語(書写含む)	306	315	245	245	175	175	140	140	105
	社会	/	/	70	90	100	105	105	105	140
	算数・数学	136	175	175	175	175	175乗	140乗	105	140
	理科	/	/	90	105	105	105乗	105	140	140
	生活	102	105	/	/	/	/	/	/	/
	音楽	68	70	60	60	50	50乗	45	35	35
	図画工作・美術	68	70	60	60	50乗	50乗	45	35	35
	技術(中学)・家庭	/	/	/	/	60	55	70	70	35
	体育	102	105	105	105	90乗	90乗	105	105	105
外国語	/	/	/	/	70乗	70乗	140乗	140	140	
外国語活動	13	17	41	41	/	/	/	/	/	
特別の教科 道徳	34	35	35	35	35	35	35	35	35	
総合的な学習の時間	/	/	70	70	70	70	50	70	70	
特別活動(学級活動)	34	35	35	35	35	35	35	35	35	

○ 乗り入れ授業

- 6年生算数…中学校の数学専科の教員と6年生の担任がチームティーチングで授業をします。
- 7年生数学…中学校の数学専科の教員と小学校の教員がチームティーチングで授業をします。
- 6年生理科…中学校の理科専科の教員が授業をします。
- 6年生音楽…中学校の音楽専科の教員と小学校の教員がチームティーチングで授業をします。
- 5、6年生図画工作…中学校の美術専科の教員が授業をします。
- 5、6年生体育…中学校の体育専科の教員と5、6年生の担任がチームティーチングで授業をします。
- 5、6年生外国語…英語専科の教員が授業をします。
- 7年生外国語…中学校の英語専科の教員と英語専科の教員が授業をします。

# 週の計画及び日課表

にじの丘学園

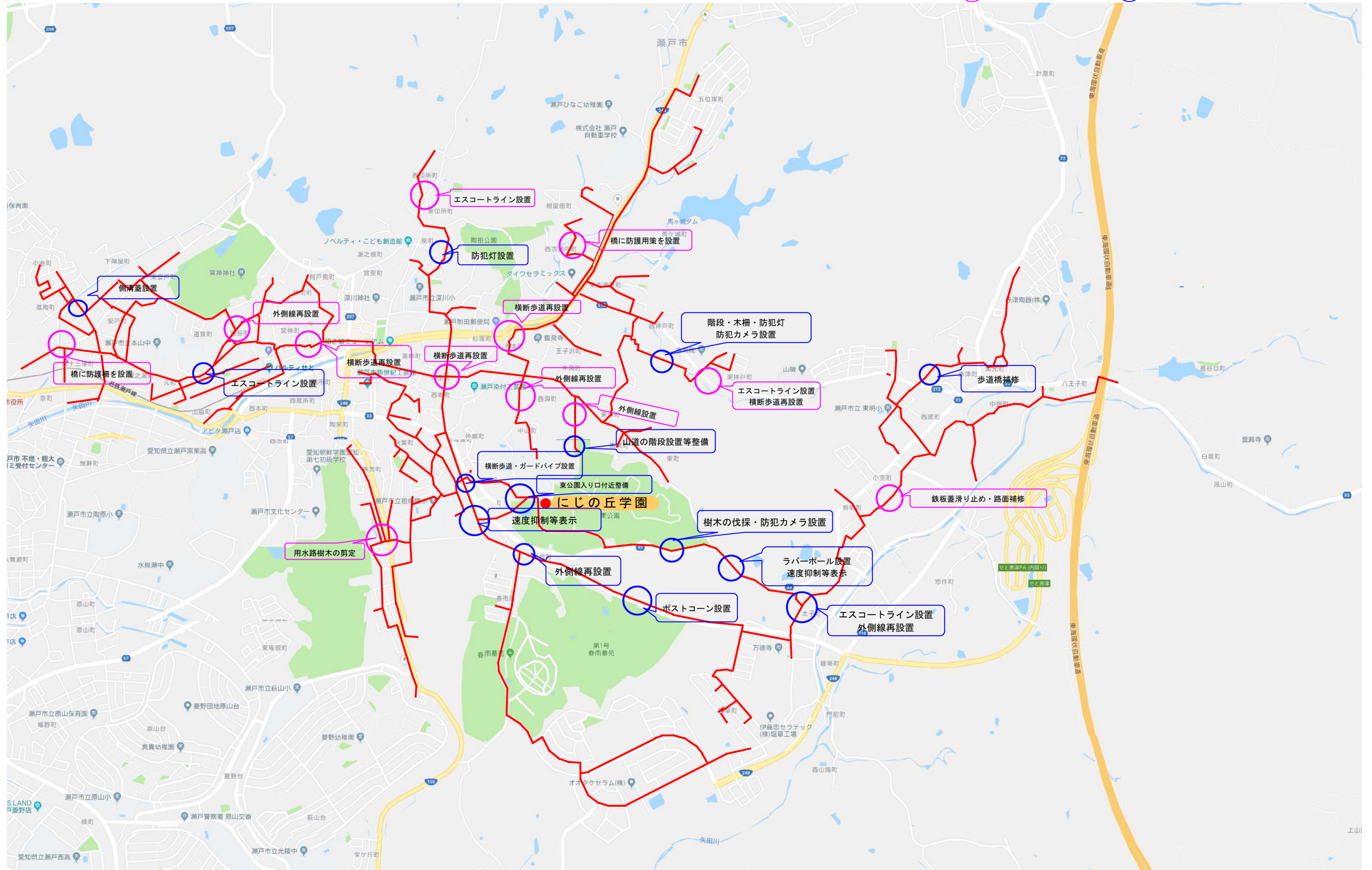
1～6年		月	火	水	木	金	7～9年		
8:25	短時間学習 短学活	集会	短時間学習 短学活				短時間学習 短学活	8:25	
8:50	1限	1	6	12	18	24	1限	8:45	
9:35								9:35	
9:45	2限	2	7	13	19	25	2限	9:45	
10:30								10:35	
10:50	3限	3	8	14	20	26	3限	10:45	
11:35								11:35	
11:45	4限	4	9	15	21	27	4限	11:45	
12:30	給食	給食				給食		12:35	
13:15	清掃	清掃				清掃		13:15	
13:30	休	休				休		13:30	
13:50	5限	5	10	16	22	28	5限	13:50	
14:35								14:40	
14:45	6限	短学活	11	17	23	29	6限	14:50	
15:30	短学活	諸会議	短学活				短学活		15:40
15:40	業後		部活動				業後		15:50
	下校時刻	小学校 14:45 中学校 14:50	1,2年 14:45 3～6年 15:40 7～9年 15:50	1年 14:45 2～6年 15:40 7～9年 15:50	1～2年 14:45 3～6年 15:40 7～9年 15:50 <small>※会議日は小学校14:45 中学校14:50</small>	1～3年 14:45 4～6年 15:40 7～9年 15:50	下校時刻	その他の下校時間 3時間授業で帰る場合 11:45 4時間授業(給食含む)で帰る場合 13:25	
	部活動終了時刻	4月 1日～ 17:45 夏季休業中 16:45 9月 1日～ 17:45 9月16日～ 17:10	10月 1日～ 16:45 11月 1日～ 16:30 11月16日～ 16:15 冬期休業中 16:15		1月 1日～ 16:15 1月16日～ 16:45 3月 1日～ 17:10		部活動終了時刻		

資料番号1-2

# にじの丘学園通学路(案)及び主な通学路整備状況

整備済箇所  整備予定箇所 

2019/10/4 現在



※上記のほか協議中の箇所もあります

# 新しい教育環境づくりに取り組んでいます！

## コミュニティ・スクール (学校運営協議会と地域学校協働本部)

### 地域総がかりで子どもたちを育てる瀬戸市に

#### なぜ取り組むのか

急速な社会の変化に対応するため・・・

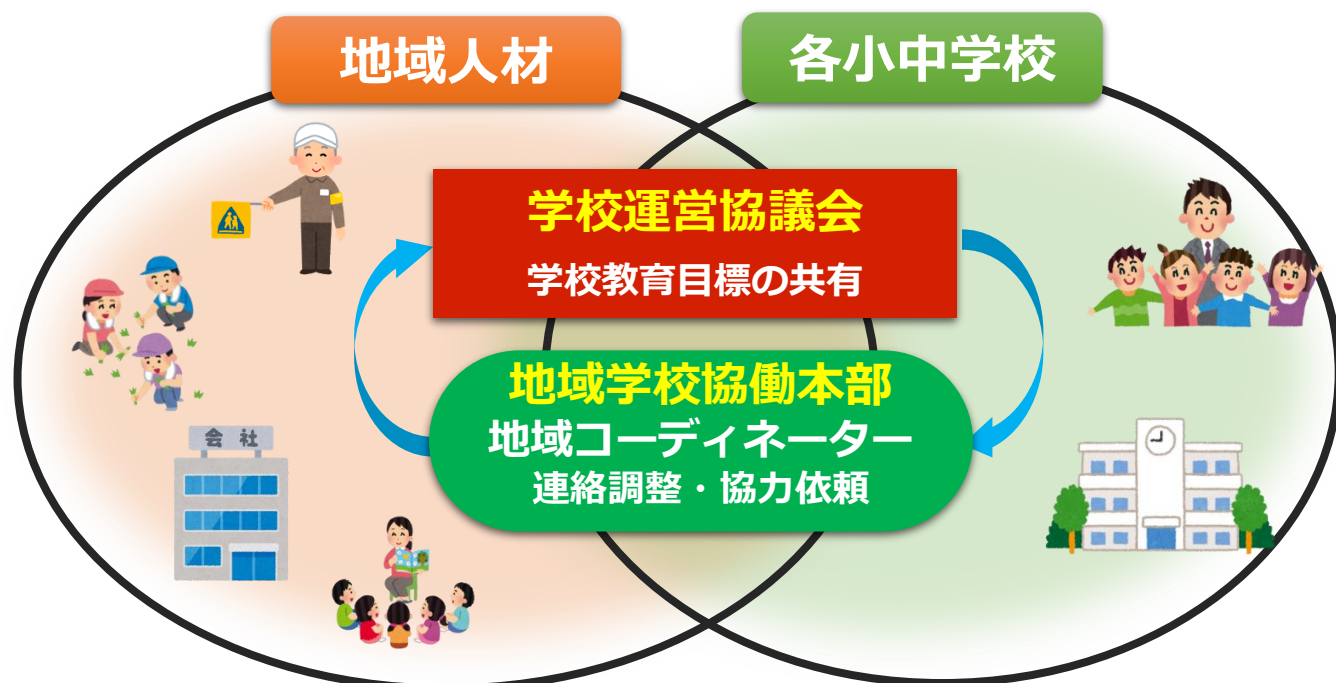
- 2030年頃には・・・  
日本の労働人口の約半数49%がAI・ロボット化する（オックスフォード大学と野村総合研究所）
- 2040年頃には・・・  
急速な人口減少社会が訪れる（国立社会保障人口問題研究所）
- 2050年頃には・・・  
愛知県の小・中学校の半数がなくなる試算（東洋大学教授）

子どもたちを取り巻く環境や学校が抱える課題は複雑化・多様化しており、教育改革、地方創生等の動向からも、学校と地域の連携・協働の重要性が指摘されています。（文部科学省）

#### どんな取り組みなのか

これからの未来を生きる子どもたちのために、学校と地域が取り組むべきことは、「地域総がかりで子どもたちを育てる教育環境」をつくることです。これまで学校は、地域の方々からの支援をいただき、子どもたちを育てる活動を進めてきました。この取り組みは、従来の「一方向だった学校支援」から「双方向の連携・協働」へと移行し、「地域とともにある学校づくり」への転換を図るものです。

瀬戸市は、全市的に中学校ブロックごとの小中一貫教育を進めています。小中一貫教育に伴い、地域におけるゆるやかなネットワークを整え、学校と地域が目標やビジョンを共有し、輝く子どもたちの未来の創造に向けて新しい教育環境づくりに取り組んでいきます。





## ▶ どんない仕組みなのか

学校・家庭・地域が相互理解や信頼関係を深め「地域とともにある学校づくり」を推進する地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の6に基づいた仕組みです。

### 3つのキーワード 「熟議」「協働」「マネジメント」

#### 「熟議」

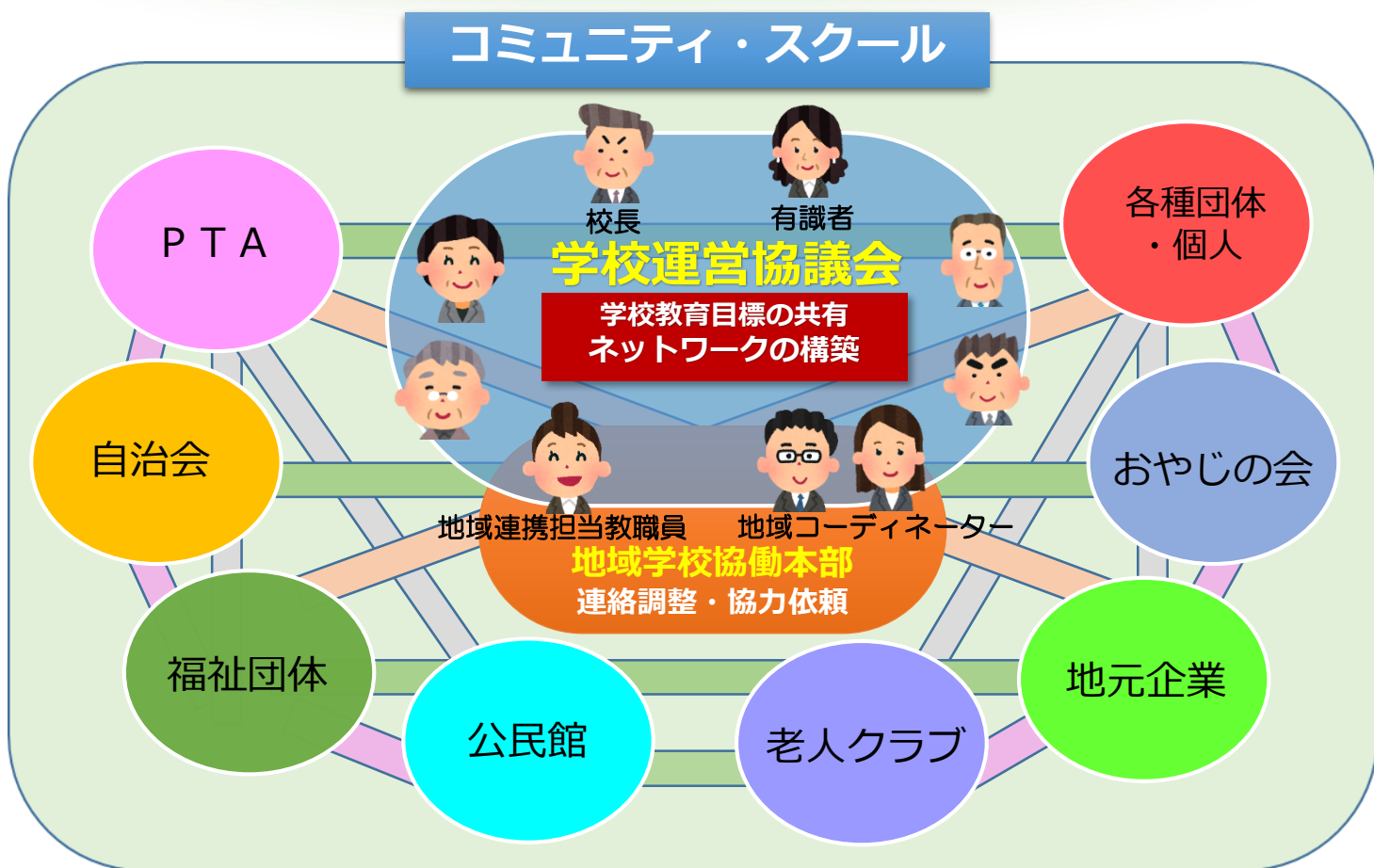
保護者、教職員、地域住民等の当事者が集まって、課題や目標について熟慮し議論することにより、お互いの立場や果たすべき役割への理解を深め、それぞれが納得して自分の役割を果たすようにします。

#### 「協働」

保護者、教職員、地域住民等の当事者が、同じ目的・目標に向かって、対等の立場で協力し合って共に活動するために、「計画・実行・評価・改善」のPDCAサイクルを回し、より効果的な地域学校協働活動に向けた取り組みにつなげます。

#### 「マネジメント」

最終意思決定者である校長のリーダーシップにより、①学校内の組織体制と協働文化の構築、②学校の教育力を向上させるための工夫、③学校関係者が持つ専門性やネットワークを生かした地域学校協働により学校運営を促進します。



## ▶ どんない効果があるのか

- 保護者・地域住民等が学校と協働することにより、子どもたちの教育の当事者となり、地域ぐるみで効果的に子どもたちを育む体制が構築されます。
- 学校が社会的なつながりを得られる場となり、子どもたちの学びや体験が充実します。また保護者や地域住民等が学校運営に参画することは、生きがいや自己有用感につながります。
- 地域の課題解決に向けた取り組みや大規模災害の緊急対応に、学校と地域が一体となって取り組む体制づくりが進みます。

# 瀬戸市立小中一貫校 にじの丘学園

## 見守りサポーター募集中

子どもたちの登下校時の安全指導  
家の前や、街頭での見守り・・・等々  
見守りサポーターをやってみませんか。

**はじめまして！**

**なないろサポートステーション**の  
地域コーディネーター上川和子、宮村恵美子です。

にじの丘学園「**ななSAPO**」は  
“七色の虹のように7校が一つになって新しい学校を作っていく”  
そんな想いをこめて名前を考えました。  
ななSAPOは、地域・家庭・学校をつないで、  
地域みんなでにじの丘学園の子どもたちを  
育てていく活動をサポートします。  
まずは、子どもたちの安全と安心のための  
見守りサポーターからスタートです。  
よろしくお願ひします！

### 申し込み方法

別紙「学校協働ボランティア応募票」  
にご記入いただき、右記5地区の最寄  
りの自治会まで直接お持ちいただくか  
FAXでお送りください。

道泉地域交流センター	TEL 83-9084	FAX 83-9084
深川公民館内	TEL 82-0453	FAX 76-5026
古瀬戸自治会館	TEL 21-2203	FAX 21-2203
東明公民館内	TEL 82-8024	FAX 82-8024
祖母壊公民館内	TEL 83-8700	FAX 83-8700

※9:00~17:00土日祝除く

### 学校協働ボランティアとは

学校の要望に応じて地域の方々がサポーターとなって学校と協働していく  
「**地域とともにある学校づくりの応援団**」です。

# にじの丘学園 学校協働ボランティア応募票

なないろサポートステーション

応募日            年        月        日

ふりがな		〒	
氏名		住所	
		電話番号	
所属		FAX番号	

※個人情報、見守り活動に関するご連絡に使用させていただきますが厳正に管理いたします。

1 あなたができる活動があれば、○印をつけてください。

	活 動 内 容	○印	活動可能な地域 場所 等
見守り	登下校の付き添い	<input type="checkbox"/>	
	自宅の前で見守り	<input type="checkbox"/>	
	近くの交差点で見守り	<input type="checkbox"/>	
	散歩がてらの見守り	<input type="checkbox"/>	
	自転車での見守り	<input type="checkbox"/>	
	その他 関心のある方 (相談の上で考えたい等)	<input type="checkbox"/>	
※どんな活動でも結構ですが、すべてにお応えできるものではありませんのでご了承ください。			
その他		<input type="checkbox"/>	

2 活動可能な日時があればお書きください。(曜日、時間)

3 その他、ご相談等あればお書きください。

## 瀬戸市立小中学校の適正規模・適正配置及び小中一貫校（一貫教育）

### Q&A

本市小中学校の適正規模・適正配置及び小中一貫校（小中一貫教育）に関して、これまでに開催した意見交換会や地区協議会（自治会・PTA・公民館関係者などによる自主的なまちづくり検討組織）をはじめ、5地区の保護者を対象としたアンケート調査（平成28年11月実施）などで寄せられた主なご質問やご意見と、現時点におけるその回答をまとめました。ご参考にさせていただければ幸いです。

なお、今後も引き続き、保護者をはじめ、地域の方々、関係者との協議を重ね、詳細が決まったものについては、随時、回答を加筆・修正することがありますので、予めご承知おきください。

瀬戸市教育委員会



### 【Q&A 項目】

1	適正規模・適正配置	1
2	小中一貫教育	2
3	教育の質の向上	3
4	小中一貫校	3
5	立地	6
6	通学（バス）	7
7	子どもたちや保護者への配慮	7
8	地域とともにある学校づくり	8
9	安心して安全な学校づくり	9
10	隣接学校選択制度	9
11	学校跡地利活用	9
12	情報公開	10
13	今後の進め方	10



## 1 適正規模・適正配置

### (Q) なぜ適正規模・適正配置を行うのか

(A) 本市では、第2次瀬戸市教育アクションプランの目指す子どもの姿として「自ら考え、学び、生き抜く力」を育むこととしています。そのためには、子どもたちは一定の集団の中で、多くの友だちや大人と接し、様々な体験をすることで、豊かな人間性を身につけるとともに、自主性や社会性を育む必要があると考えます。子どもたちの笑顔を増やし、子どもたちの未来に向けた“新しい瀬戸の教育”を創造していきます。

### (Q) 小中学校の適正規模とはどの程度か

(A) 法令上、学校規模の標準は、小中学校ともに「12学級以上18学級以下」とされています。ただし、「地域の実態その他により特別な事情があるときは、この限りではない。」とされており、本市におきましても、地理的条件や地域の状況などを考慮して適正規模の確保に努めてまいります。

### (Q) 小規模校にも良さがあるのではないか

(A) 小規模校では、子どもたち一人ひとりに目が届くとともに、子どもたち同士の絆が深まりやすいなどの良い面はありますが、「クラス替えができず、人間関係が固定化する」「部活動の種類が限定される」「運動会や音楽会など集団活動・行事の実施に制約が生じる」などの課題があると考えています。

### (Q) にじの丘学園の規模はどのくらいか

(A) 今回の小中一貫校の規模は、各学年3クラス程度を想定しており、子どもたちがいきいきと活動するとともに、教員がきめ細かい指導を実践するためには、最適な規模であると考えています。現在の小規模校の良い面を継承しながら、小中一貫校を運営していきたいと考えています。

### (Q) この計画のこれまでの経緯を教えてください

(A) 適正規模・適正配置は、本市の教育行政において、長年の課題となってきました。児童生徒数がさらに減少する中、平成26年には瀬戸市小中学校PTA連絡協議会から、適正配置及び隣接学校選択制に関する要望書をいただき、また、市民からも同様の意見が多数あったことなどから、平成28年3月策定の「第2次瀬戸市教育アクションプラン」において、適正規模・適正配置を基本施策の一つとして明確に位置づけ、本格的な取組を始めたものです。

## 2 小中一貫教育

### (Q) 小中一貫教育とはどんな制度か

(A) 本市の小中一貫教育は、地域の力を基盤とし、9年間を見通して子どもを育てるものであり、これまで取り組んできた小中連携の考え方をさらに発展させるものです。今後は、市内すべての中学校区において、小中学校の9年間の義務教育を連続性・系統性に配慮した学習指導を充実し、個々に応じた指導や成長を見守ります。

### (Q) 本市が目指す小中一貫教育とは何か

(A) 本市で学ぶ子どもたちには、「自ら考え、学び、生き抜く力」を身につけてもらいたいと考えています。そのためには、連続性・系統性をもたせながら、地域の方々とともに義務教育の9年間の成長を多くの大人が見守り、支え合う教育環境づくりが必要であると考えています。

### (Q) これまでの小学校、中学校の課題は何か

(A) これまでの義務教育においては、小中学校の教員間において、指導内容や指導方法の違い、児童生徒を理解するための情報交換や共通理解の不足など、小学校と中学校の間で指導が途切れることが課題となっています。

### (Q) 小中一貫教育は、具体的に何をするのか

(A) 小中学校の9年間を一貫した教育方針のもと指導していくこととなります。例えば、小学校高学年から専門性の高い教科について、一部教科担任制を取り入れることをはじめ、小中学校の教員が一緒になり、チーム・ティーチングによる授業を行うなど、小学生から中学生への緩やかなステップアップとなるよう取り組みます。

また、児童生徒が交流することで、小学生が中学生への憧れをもつとともに、中学生には自覚や自尊感情が生まれることが期待できます。

### (Q) 小中一貫教育のカリキュラムや教育方針はどのようになるのか

(A) 義務教育9年間を見通した学習指導を行うために、各教科・領域において連続性・系統性・横断性に配慮した教育課程を作成します。その中で、主体的・対話的で深い学びができる教育活動を展開します。

### (Q) 小学6年生は、今まで最高学年としてリーダーシップを発揮できたが

(A) リーダーシップの育成には、学年の区分を生かして行事や取組を考え、それぞれの段階においてリーダー体験を積み重ねることができるよう工夫していきます。

(Q) 中学校入学は、心機一転の機会と考えるがどうか

(A) 本市が推進する小中一貫教育において、節目としての中学校入学は大切な時期だと認識しています。子どもたちにとって、必要なステップアップの機会を残しながら、少しでも緩やかにしようとするものです。

### 3 教育の質の向上

(Q) まずは、教育の質を向上させることが優先ではないのか

(A) 義務教育9年間を見通した連続性・系統性・横断性に配慮した教育課程の展開が、教育の質の向上につながると考えています。また、小中学校の教員による相互の授業参観や合同研修会を通して、互いの指導内容や指導方法などに関する理解を深めることで、教員の指導力を高め、さらなる教育の質の向上を目指します。



### 4 小中一貫校

(Q) 小中一貫校になると何が良くなるのか

(A) 小中一貫校では、9年間を見通した目標と一貫した教育課程のもと、小学校から中学校への円滑な接続と児童生徒の異学年交流などにより、密接な人間関係を作ることができ、その結果、いじめ・不登校の減少につながることが期待されます。また、教員同士の連携による教員の資質向上が図られます。

(Q) 小中一貫校では、どのような教育に取り組むのか

(A) 小中一貫校では、義務教育9年間を見通した教育課程を編成し、指導内容や指導体制などの工夫により、小中学校の円滑な接続を図ります。その中で、基礎基本の定着を保証し、応用力・対応力を身に付けさせることで「協働型課題解決能力」の育成を目指します。また、子どもたち同士の交流や教職員などの連携や協働に重点を置きながら、グローバルな人材を育成するとともに、郷土学習、キャリア教育、環境教育など、地域と学校が協働した取組を推進していきます。子どもたちの未来のために、瀬戸らしい教育を創造し、魅力ある学校づくりに取り組みます。



(Q) 統合前に合同授業や合同部活動は実施しているのか

(A) 5地区の小中学校においては、各学校における現在の教育活動を大切にしながら、合同授業や合同行事などを行っています。例えば、小学校では、合同での道徳の授業、遠足、野外活動を行っています。また、中学校でも、開校時に一緒に学校生活を送ることになる生徒が、不安なく過ごせるよう、合同行事や合同部活動などを行っています。

(Q) 部活動はどのようになるのか

(A) 中学生については、サッカー部、野球部、バスケット部男女、バレーボール部女子、ソフトテニス部男女、音楽部、陶芸美術部、剣道部を継続しますが、入部希望人数によっては募集を検討します。小学生が行う活動については、野球、バスケットボールを予定していますが、そのあり方や活動場所について、関係者と協議をしています。

(Q) P T A活動はどのようになるのか

(A) 令和元年6月に、7校の現P T A役員が組織等を含め活動について検討する準備委員会を立ち上げ、開校に向けての準備を進めています。

(Q) 学校行事はどのようになるのか

(A) これまでも各校で行われてきた学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深めていけるようにします。その中でも、小中一貫校の特性を生かし、1年生から9年生の全ての学年が参加したり、地域の方々と協働したりするような、多様な人たちと関わる事ができる学校行事も実施していく予定です。

(Q) 児童クラブ・放課後学級はどうなるか

(A) おひさま児童クラブ・たいよう児童クラブは、当面、現在の場所をそのまま使用し、将来的に深川小跡地エリアへの移転を検討します。道泉小学校児童クラブについては、4月からパーティセと4階で開設予定です。

また現在、祖母懐小学校・道泉小学校・古瀬戸小学校で開設している放課後学級については、にじの丘学園内に現在の5校（深川・祖母懐・道泉・東明・古瀬戸）の児童がご利用いただける規模の放課後学級を開設いたします。

(Q) 小学生と中学生では体格の差が大きく危険ではないか

(A) 小学生と中学生の体格の差については、運動スペースの仕切りやプールの水深などに充分配慮する必要があると考えています。逆に、中学生が小学校低学年に配慮する姿が見られるようになる面などが期待できます。



(Q) 制服や体操服等はどうなるのか

(A) 3月に実施した制服・体操服デザイン投票をもとに、下のよう  
に決定しました。今後は、着用のルール等を決定した後、12月上旬から取扱店に  
て販売を開始する予定です。なお、開校から数年間は、現在の小中学校で  
使用している制服、体操服、シューズ類等を使用できることとしています。  
また、制服の着用は7年生（中学1年生）からとなります。



**(Q) 校名や校歌などはいつ頃、どのようにして決まるのか**

(A) 公募によりにたくさんの応募をいただいた中から、校名については平成30年3月、「瀬戸市立にじの丘小学校」、「瀬戸市立にじの丘中学校」に決定しました。校章についても校章デザイン投票の結果、最も多くの票を得た2点のデザインの要を組み合わせ、平成31年4月、下の校章デザインとしました。また、校歌については「にじの丘の子どもたち」の原詩に、教科書や合唱教材に使われる小中学生のための合唱曲作曲者である、弓削田健介氏が曲を付け「瀬戸市制施行90周年記念事業 教育市民フォーラム2019」の中でお披露目いたしました。



**(Q) 特別支援教育に対する考え方を教えてほしい**

(A) 現在、5地区の小中学校において行われている特別支援教育の内容を継承するとともに、小中一貫校ならではの継続した支援が行われるようにしていきます。特別支援学級においては、小中学校が同じ敷地内にあることで、小学校・中学校間の頻繁な交流が可能になり、9年間を見通した支援や指導が可能になります。また、通常の学級の児童生徒や地域の方々との交流を深め、より一層社会性を身につけられるようにしていきます。

**(Q) 今後の少子化により、児童生徒数が減少しないか心配である**

(A) 今後さらなる少子化の進行により、児童生徒数が減少することも考えられますが、まちの魅力を発信して、若い世代が住みたくなるまち「せと」を目指してまいります。

## 5 立地

**(Q) どうして小中一貫校を東公園に建設するのか**

(A) にじの丘学園の立地については、数か所の候補地を比較検討する中で、5地区のほぼ中央に位置し、誰もが通いやすく、また、子どもたちの教育環境を充実することができる場所として、東公園の敷地を活用することが最善と考えました。祖東中学校については、令和2年3月までこれまで通り生徒の安全に注意し学校運営を行います。

(Q) 本山中・道泉小の場所で実現すれば良いのではないか

(A) 現在の本山中・道泉小での場所についても検討したものの、立地的にも偏りが大きく、また、本山中が借地であることから、困難であると判断しました。また、子どもたちの教育環境として、適正規模を確保すべきであり、小中一貫校を2校にすることは考えていません。

## 6 通学（バス）

(Q) 新しい学校への通学路の安全確保はどうなるのか

(A) 通学路や通学時の安全確保は、最優先課題であると考えており、通学路の危険箇所などを把握し、出来る限りの安全対策を講じています。また、通学時の見守りについても、地域の皆様のご協力もいただきながら、児童・生徒の安全安心に取り組んでおり、また、IC タグを利用した見守りシステムも導入し、安全を確保します。

(Q) 徒歩通学が困難となる児童生徒の通学はどうなるのか

(A) 通学については、基本的には徒歩通学となりますが、状況に応じて路線バスを利用させていただくこととしております。なお、利用に際しては、運行協力金として、月500円（年額6,000円）をご負担いただきます。また、地域の皆様のご協力もいただきながら人員配置をし、安全にバスの乗降ができるようにしてまいります。

(Q) 校区外通学はできないのか

(A) 校区外通学とは、保護者の申請により、にじの丘学園学校区以外の学校に入学・転入学することができる制度です。学校の移転・統合により就学先が変更した場合、かつ、移転・統合した学校と、自宅から最も近接する校区外学校を比べ、通学距離が概ね2km以上差がある場合、教育委員会が個別対応させていただきます。



## 7 子どもたちや保護者への配慮

(Q) 今、学校に通っている子どもたちに配慮してほしい

(A) 今後も引き続き、合同授業や合同行事など様々な活動を通して、各学校の児童生徒同士が触れ合う機会を増やし、適切な教育環境の整備などに努めています。

(Q) 将来、小中一貫校に通学する未就学児の保護者の意見を聞いてほしい

(A) 平成 28 年度、5 地区にお住まいの未就学児の保護者に向けた意見交換会やアンケート調査などを行いました。平成 29 年度は、せとっ子ファミリー交流館やパーティセと、また、就学時健診などで個別相談会を開催しました。こうした機会を通じ、未就学児の保護者のみなさまの心配ごとや不安の解消に努めております。なお、教育委員会では随時相談を伺っております。お気軽にお尋ねください。



## 8 地域とともにある学校づくり

(Q) 地域と学校の連携はどうなるのか

(A) 今回の適正配置で地域に学校がなくなるからといって、地域と学校の連携や協働が弱まることであってはならず、逆に、地域範囲が広がることにより、子どもたちがそれぞれの地域に根づいた多様な文化に触れ、より一層の連携や協働が期待できると考えています。そのため、にじの丘学園には、交流スペースや地域活動室を配置し、「地域とともにある学校づくり」を進めていきます。

(Q) 適正規模・適正配置により、地域との関わりが少なくなるのでは

(A) にじの丘学園では、様々な地域の力を生かした教育活動に取り組んでいきます。また、学校跡地においても、放課後や休日を活用した子どもたちと地域が関わり合う方策などについて、地域の方々とともに検討していきます。

(Q) コミュニティ・スクールになると聞いたが

(A) 保護者・地域住民等が学校と協働することにより、子どもたちの教育の当事者となり、地域ぐるみで効果的に子どもたちを育む体制を構築するためにコミュニティ・スクール制度を導入し、「地域とともにある学校づくり」を推進していきます。

(Q) コミュニティ・スクールに関するスケジュールはどのようなものか

(A) 令和元年6月に「にじの丘学園コミュニティ・スクール設置準備委員会」を設置しました。今後も適宜開催し、令和2年4月の開校とともにコミュニティ・スクール制度を導入できるよう取り組んでいきます。

(Q) 適正規模・適正配置は、まちづくりと連動させなければならないのでは

(A) 第6次瀬戸市総合計画との整合性はもちろんのこと、本市の都市計画やまちづくりとの関わりは密接であると考えています。今後は、魅力ある学校づくりを推進するとともに、市全体の共通課題として、本市のまちづくりを推進していきます。

(Q) これまでの地域の取組や地域文化を継承する必要があるのでは

(A) これまでも、対象校では地域の方々と関わり、それぞれの地域文化や歴史を生かした学習活動などを行ってきました。にじの丘学園においても、郷土学習や地域文化を継承する行事などを行っていきます。

## 9 安心で安全な学校づくり

(Q) 学校は、安心で安全な教育環境でなければならないのでは

(A) にじの丘学園は、災害に強く、子どもたちや地域の方々にとって安全な施設であることはもちろんのこと、不審者や迷惑行為などに対する防犯対策などにも努め、安心で安全な教育環境を整備します。

## 10 隣接学校選択制度

(Q) 隣接学校選択制度は、具体的にどうなるのか

(A) 隣接学校選択制度は令和元年度末をもって廃止とし、その後は、制度開始前から学校選択が可能だった区域を中心とした特定区域における校区外通学制度に移行します。ただし、制度廃止後も、隣接学校選択制度により校区外の小学校に在籍している児童が、中学校に進学する時や、兄弟が現在隣接学校選択制度を利用中で、かつ翌年度も当該校に在学中の場合に限り、その弟妹である新入学生については、経過措置として引き続き、同校の選択を可能とします。

## 11 学校跡地利活用

(Q) 小学校の跡地はどう利活用するのか

(A) 小学校統合後の跡地利活用につきましては、「令和2年4月1日以降も機能を維持するための利用(暫定利用)」と「将来のまちづくりにつながる新たな活用(将来活用)」の2つの段階に分けて整理し、具体的な案をお示ししたうえで、本市の現状と課題を共有しながら、各地区協議会において検討を踏まえて、市として決定をしております。

## 12 情報公開

(Q) この計画に関する資料などについての詳しい情報を教えてほしい

(A) この計画に関する資料などについては、順次、市ホームページや広報などで公開し、情報をお知らせしていきたいと考えています。

(Q) 瀬戸市小中一貫校開校準備委員会やアンケート調査結果などを知りたい

(A) 瀬戸市小中一貫校開校準備委員会（平成 29 年度から）及び瀬戸市小中一貫校施設整備委員会（平成 28 年度）の開催状況やアンケート調査結果など、小中一貫校に係る様々な取組状況や情報などについては、市ホームページでお知らせしています。また、「広報せと」や、「にじの丘だより」なども活用しながら、市民のみなさまに周知を図っていきます。



## 13 今後の進め方

(Q) 今後、PTA や地域住民との合意形成はどのように行われるのか

(A) 各地区における地区協議会において、にじの丘学園に関することをはじめ、学校跡地の利活用に関することなどについても協議を重ねています。こうした場において、教育をはじめ、子育て、まちづくり、市民協働、防災など、様々な観点から、協議することにより、市民のみなさまのご理解を深めていただきたいと考えています。

また、瀬戸市小中一貫校開校準備委員会を開催し、地域連携や地域協働の視点からの様々なご意見やご提案をいただきながら、地域とともにある学校づくりを目指しています。

(Q) 開校までのスケジュールはどのようになっているのか

(A) 平成 29 年度に学校施設の設計業務が終了しました。平成 30 年度は 6 月から造成工事、10 月から校舎建築工事などを行い、令和 2 年 1 月末に校舎が完成する予定です。地域の皆様へ新しい校舎をご覧いただく機会を設けるため、準備を進めています。



令和2年4月に開校する「にじの丘学園」外観イメージ

今後も、三つの基本理念の実現を目指し、「自ら考え、学び、生き抜く力」を育み、子どもたちにとって、より良い教育環境づくりを推進していきます。

### 「第2次瀬戸市教育アクションプラン（瀬戸市教育振興基本計画）」

瀬戸のすべての子どもたちが「瀬戸で学んでよかった」  
瀬戸のすべての親たちが「我が子を瀬戸で育ててよかった」  
瀬戸のすべての市民が「瀬戸で生きてよかった」

# にじの丘だより

第8号

令和元年7月31日発行  
瀬戸市教育委員会

## ■制服・体操服デザインが決定しました

これまで実施しましたアンケート結果及びデザイン投票をもとに、7校教職員で構成される部会にて検討し、制服・体操服のデザインが下のように決定しました。なお、冬の制服の中のシャツに関しては、白の無地シャツであれば特に指定はしませんが、推奨品として白のニットシャツを販売する予定です。また、開校から数年間は移行期間として、現在使用している制服・体操服や、ごきょうだい等のものが使用可能です。



ワンタッチネクタイ・リボン



※ホックで簡単にネクタイ、リボンを取り付けることができます。

ワッペン・ボタン



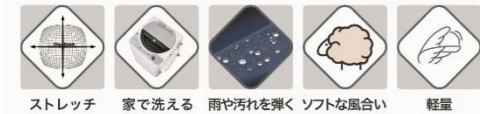
ボトム柄



※家庭洗濯機で丸洗いが可能です。

極力、男女の性差を少なくしてトランスジェンダーの方への配慮を入れた未来志向。落ち着いた雰囲気の中、ネクタイ・リボン等で親しみと明るさを取り入れ、誰からも好まれる制服を目指しました。ジャケットは最新のニット素材を採用し、ストレスフリーの着心地を実現。袖口は成長に合わせて伸ばせる成長設計になっています。中のシャツは、各家庭で無地の白いシャツをご用意していただきますが、推奨品も用意します。

ジャケット素材 ウール 15% / ポリエステル 85%



ボトム素材 ウール 30% / ポリエステル 70%  
◆家で洗える ◆優れた耐久性

メーカー希望販売価格	A	B
ジャケット	19,545 円	18,545 円
ボトム	10,545 円	11,545 円
ネクタイ	2,000 円	
リボン	1,636 円	

※税抜き価格で提示しています。  
※男女ともに A・B どちらのタイプも選択できます。



刺繍デザイン



ボトム柄



※家庭洗濯機で丸洗いが可能です。

暑い夏に涼しげな印象を与えるサックスのニットシャツ。ノーアイロンで、お洗濯後干しておけばシワならず、乾きも早くなっています。衿の合わせは A・B どちらも同じで、冬服同様に性差を少なくしてトランスジェンダーの方へ配慮しています。ボトムは冬服と同じ柄ですが、夏用の生地で涼しいものになっています。胸には冬服のワッペンと同じ「N」の刺繍が入ります。

シャツ素材 ポリエステル 100%



ボトム素材 ウール 30% / ポリエステル 70%  
◆家で洗える ◆優れた耐久性

メーカー希望販売価格	A	B
ニットシャツ	3,200 円	
ボトム	10,000 円	11,000 円

※税抜き価格で提示しています。  
※男女ともに A・B どちらのタイプも選択できます。



▼ジャージ上下の素材

**- grand guard -**  
グランガード

- ◆裏起毛で保温性バツグン
- ◆圧倒的な防風性能
- ◆ムレなく快適な着心地
- ◆タワシで擦っても大丈夫な耐久性
- ◆コンパクトに収納可能

▼半袖シャツの素材

**フィールドセンサー秒乾**

- ◆汗を瞬時に拡散・乾燥させさらりとした着心地
- ◆素早く乾いてお手入れカンタン
- ◆軽量で肌触り柔らか

▼ジャージ上下の素材

**クロスライト**

- ◆運動しやすい軽い着心地
- ◆毛玉が出来にくい高耐久
- ◆汗によるべたつきを軽減



▼メーカー希望販売価格

ジャージ上衣：4,400円（税抜） 半袖シャツ：2,800円（税抜）  
ジャージ下衣：3,400円（税抜） ハーフパンツ：2,800円（税抜）

8月20日（火）～9月20日（金）の間、瀬戸市役所1階で展示を行っています。  
なお、この「にじの丘だより」は、7校各世帯には8月19日（月）の出校日に配布いたします。

この「にじの丘だより」は瀬戸市ホームページ(<http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2016062200058/>)及び facebook ページ〈瀬戸市小中一貫校 にじの丘学園〉でもご覧になれます。

【お問合せ】 瀬戸市教育委員会（瀬戸市役所内）  
TEL:88-2756 FAX:88-2755  
E-mail:kyoikuseisaku@city.seto.lg.jp





# にじの丘だより

第9号

令和元年10月16日発行  
瀬戸市教育委員会

## ■にじの丘学園制服・体操服等取扱店について

令和4年3月31日までの「にじの丘学園制服・体操服等取扱店」が次のとおり決定しました。

- ・学生服のつちや
- ・学生の店 コマツヤ
- ・学生服のノノヤマ

取扱店での採寸・販売は本年12月以降可能となりますが、  
販売品目や取扱い店舗等の詳細については、入学説明会でを行います。



## ■にじの丘学園入学説明会について

にじの丘学園への入学にあたり、にじの丘学園の教育活動、学校生活、通学等を、保護者の皆様へお伝えするため、「にじの丘学園入学説明会」を行います。

○日程

日にち	開始時間（受付開始時間）	学校	会場
令和2年1月17日（金）	14:00（13:30）	本山中学校	体育館
令和2年1月20日（月）	14:00（13:30）	祖母懐小学校	体育館
令和2年1月23日（木）	10:00（9:30）	古瀬戸小学校	体育館
令和2年1月23日（木）	14:00（13:30）	祖東中学校	体育館
令和2年1月25日（土）	10:00（9:30）	東明小学校	体育館
令和2年1月29日（水）	10:00（9:30）	道泉小学校	体育館
令和2年2月6日（木）	10:50（10:30）	深川小学校	学習ひろば

※参加者数により会場を変更する場合がございます。参加を希望する学校の調査を11月頃行います。

○留意事項

- ・例年、入学説明会は、小学校では新1年生の保護者を対象に、中学校では新1年生の生徒と保護者を対象に行っていますが、今回は令和2年度ににじの丘学園に在籍するすべての児童生徒の保護者を対象とします。児童生徒は対象としません。
- ・どの学校でも同様の説明を行います。ご都合の合う日程でご参加ください。
- ・入学説明会当日の制服・体操服等の採寸・販売は行いません。

この「にじの丘だより」は瀬戸市ホームページ(<http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2016062200058/>)

及び facebook ページ〈瀬戸市小中一貫校 にじの丘学園〉でもご覧になれます。

【お問合せ】 瀬戸市教育委員会（瀬戸市役所内）

TEL:88-2756 FAX:88-2755

E-mail:kyoikuseisaku@city.seto.lg.jp



# 小中一貫教育PTプロセスシート

2019年11月作成/小中一貫教育PT

2019

2020

4月

6月

8月

10月

12月

2月

4月

- PTA準備委員会
- 地区協議会
- 開校準備委員会
- コミュニティ・スクール(CS)
- 条例等法規  
(学校設置条例・通学区域規定)

- 全市的な小中一貫教育の展開
- にじの丘学園
  - 教育活動
  - 制服・体操服
  - 校歌・校章
  - 学校運営組織
  - 式典行事
- 放課後学級

- 学校跡地活用
- 建設工事
- 通学・通学路バス
- 備品

